学校だより　～三力一心～

平岩小中学校
校長室通信　No.4
平成２８年５月９日

この通信は、不定期ですが、月2回ほど発行します。

座右の銘

偉人が残した言葉を自分の「座右の銘」としている方も多くいらっしゃると思います。
座右の銘とは、いつも自分の心に留めおいて、自分の生き方の指針とするようなもの、すなわちモットーみたいなものですよね。
ちなみに、校長の座右の銘は「受けて忘れず、施して語らず」です。この通りに生きているとはまだまだ言えませんが・・・。
先日お倉ヶ浜の海岸で行われた地引き網大会は天候にも恵まれ、大漁でもあったため、子どもたちは存分に楽しんだようです。実施に当たっては、主催である鐘ヶ浜学園の先生方の準備に加え、まちづくり協議会のサポートもあったようです。感謝の気持ちでいっぱいです。
特に校長の心に残ったのは、船を出し、網を入れてくださった地域の方（敢えて個人名は出しません）の姿勢。沖から船で網を入れ、引き終わった網を軽トラで回収する。網にかかった魚に夢中になっている参加者の後ろで、黙々と作業をする姿についつい目がいってしまいました。網は砂まみれになったため、おそらく持ち帰って洗い落とす作業や干す作業があったはず。そんな苦労をみじんも見せずに目立たない役割を果たす姿に頭が下がる思いでした。
平岩小中学校の子どもたちには、こんな「陰の立て役者」の存在に気づき、感謝の気持ちをもつことのできる大人に育ってほしいと願っています。
（これはあくまでも校長の主観が大半です。）
保護者の皆様も、ご自分の座右の銘を子どもに語ってみませんか。

【余談】
「座右の銘は何ですか？」と聞かれ、「両方１．５です。」と答えた人がいるとか、いないとか・・・。
（意味を聞きに来る子どもがいないことを祈っています。）

何よりでした

１０連休の企業もあると聞けば、ある意味うらやましい限りですが、学校は暦通り。今年のゴールデンウィークも終わってしまいました。
子どもたちにとっては残念かもしれませんが、この期間中に事故の報告は１件もなく、ひと安心しているところです。
例年、県内でも交通事故や水難事故が発生し、子どもが犠牲になることもあり、これほど悲しいことはありません。全国的に見れば、このＧＷ期間中に様々な事故が発生していますよね。車の暴走による事故（神戸市）や、落石事故（島根県）などのように、回避することが極めて難しいものが中にはありますが、多くは心がけ次第で事故を防げたり、回避できたりすると言われています。
学校では、交通教室や避難訓練を実施しています。最終的に子ども自身が「自分の命は自分で守る」ための力を身に付けさせることをねらいとしています。
これから暑くなると水の事故が心配です。平岩小中学校の子どもが一人として犠牲になることのないよう、機会を捉えて指導していきます。

参考までに

継続は力なり
情けは人の為ならず
為せば成る、為さねば成らぬ何事も

有名どころでは、このようなことわざを座右の銘にしている人が多いようです。

踏み出せばその一歩が道となり、その一足が道となる

実は、この言葉には、
「この道をいけばどうなるものか。危ぶむなかれ　危ぶめば道はなし」
という前段があります。
子どもたちはこれからたくさんの選択、判断に迫られる場面に遭遇します。迷うことも多々あると思います。経験してしまえば見通せることも多くなるのですが、それができないのが子どもです。
私たち大人は、豊富な経験とこれまでに培ってきた「人間力」で彼らの背中を一押ししてあげたいですよね。
大丈夫だ。心配するな。何とかなる。

一休さんでおなじみの一休宗純の言葉でした。